

## 編集後記

アカデミック・ジャパニーズ・ジャーナル (AJJ) 第 5 号は、研究論文 1 編、実践報告 2 編、調査報告 3 編、研究ノート 2 編の計 8 編の掲載となった。内容的にも、国内・海外の JSL・JFL の教育実践に加えて、大学のライティング・センターのチューターや理工系大学院生などの多様な対象への調査や分析が含まれており、アカデミック・ジャパニーズの現場の多様性を反映した構成となっている。会員の皆様には、今後もぜひ積極的に多様な対象への各種の試みの成果を、AJJ に投稿していただきたい。

また、前号の編集後記にも述べたことではあるが、非会員の読者の皆様には、Web ジャーナルを見て本研究会に興味を抱かれたならば、ぜひ定例研究会 (例年 6 月、11 月、2 月の 3 回) にもご参加いただき、研究交流を深めていただきたい。

(編集委員 Y.O. 記)

刊行 : 2013 年 6 月

編集委員\* (\*\*は委員長)・アドバイザー (AJG 幹事)

江森悦子 (アークアカデミー)・\*\*大島弥生 (東京海洋大学)・

小笠恵美子 (東海大学)・\*\*影山陽子 (日本女子体育大学)・木下謙朗 (朝日大学)・

佐藤正則 (早稲田大学)・清水まさ子 (国際交流基金)・高橋薫 (東京大学)・

武一美 (早稲田大学)・\*\*ボイクマン総子 (東京大学)・

松本明香 (東京立正短期大学)・宮崎七湖 (早稲田大学)

アドバイザー協力者

石毛順子 (国際教養大学)・伊集院郁子 (東京外国語大学)・大野早苗 (順天堂大学)・

門倉正美 (元横浜国立大学)・佐藤勢紀子 (東北大学)・二通信子 (元東京大学)・

茂住和世 (東京情報大学)